



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク
コード番号 4350 URL <http://www.msnw.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田尻 稲雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 平島 英治

TEL 011-612-1069

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	26,047	—	723	—	654	—	257	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 308百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	9.93	—
24年3月期第2四半期	—	—

(注)1. 平成24年3月期は決算期の変更により6か月間の変則決算となっております。これに伴い、比較対象となる平成24年3月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年3月期第2四半期の連結業績及び平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注)2. 1株当たり四半期純利益の算定方法については、あわせて「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	30,205	5,747	17.8	207.17
24年3月期	26,602	5,679	19.7	201.93

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,379百万円 24年3月期 5,243百万円

(注)1. 平成24年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行い、平成24年6月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(注)2. 自己資本比率、1株当たり純資産の算定方法については、あわせて「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行い、平成24年6月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。このため、平成25年3月期の第2四半期末、期末配当金(予想)については、これらの株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	—	2,145	—	1,950	—	750	—	28.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期は決算期変更により6か月の変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	25,969,600 株	24年3月期	25,969,600 株
25年3月期2Q	1,105 株	24年3月期	1,072 株
25年3月期2Q	25,968,526 株	24年3月期2Q	— 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成24年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行い、平成24年6月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成25年3月期第2四半期の純資産には、株式給付信託が所有する当社株式が自己株式として計上されております。一方、1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産及び自己資本については、上記の当社株式を自己株式とみなしていません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成24年3月期より決算期を9月から3月に変更しております。これに伴い、平成25年3月期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日)に対応する前年同四半期連結累計期間がないため、連結経営成績に関する定性的情報につきましては比較を容易にするため、前年同期(平成23年4月1日から平成23年9月30日)を比較対象としております。

(単位：百万円)

	前年同期 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	平成25年3月期 第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	増減率
売上高	23,566	26,047	10.5%
営業利益	1,086	723	△33.4%
経常利益	1,026	654	△36.2%
四半期純利益	488	257	△47.2%

当第2四半期連結累計期間における業績は、医薬品等ネットワーク事業が堅調に推移したこと及び調剤薬局事業における新規出店やM&Aによる増収効果により、売上高は26,047百万円(前年同期比10.5%増)となりました。利益面につきましては、調剤薬局事業において、本年4月の薬価改定及び調剤報酬改定の影響に加え、既存店の処方箋応需枚数が伸び悩んだこと、株式給付信託(J-ESOP)の導入等により費用が増加したこと、営業利益723百万円(同33.4%減)、経常利益654百万円(同36.2%減)、四半期純利益257百万円(同47.2%減)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①医薬品等ネットワーク事業

本事業に関しましては、中小薬局の新規加盟件数が順調に伸びたことに伴い受発注手数料収入が増加したこと、システム売上が堅調であったこと等により、売上高は1,316百万円(前年同期比20.7%増)、営業利益588百万円(同16.1%増)となりました。

なお、平成24年9月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、調剤薬局921店舗、24病・医院の合計945件(前連結会計年度末比91件増)となりました。

②調剤薬局事業

本事業に関しましては、当第2四半期連結累計期間に調剤薬局15店舗を新規出店するとともに株式取得により4社(24店舗)、事業譲受により1店舗を取得する一方、5店舗を閉鎖しました。また、ドラッグストア1店舗の新規出店を行った結果、平成24年9月30日現在の店舗数は、調剤薬局258店舗(休止中の1店舗を除く)、ケアプランセンター1ヶ所、ドラッグストア12店舗となりました。新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績寄与等により、売上高は24,916百万円(前年同期比10.1%増)となったものの、本年4月の薬価改定及び調剤報酬改定の影響に加え、既存店の処方箋応需枚数が伸び悩んだこと、株式給付信託(J-ESOP)の導入及び新規出店に伴う費用が増加したこと、M&A実施後の体制構築のための人的支援等に伴う費

用が増加したこと等により、営業利益は575百万円（同41.2%減）となりました。

③賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、不動産賃貸収入が増加したこと等により、売上高は543百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益66百万円（同8.0%増）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、株式会社エスエムオーメディシスが治験施設支援業務を行っております。本事業の売上高は132百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益7百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は30,205百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,603百万円増加しました。

流動資産は8,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものです。固定資産は21,452百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,751百万円の増加となりました。主な要因は、建物及び構築物の増加並びに4社の株式取得、1店舗の事業譲受によりのれんが増加したことによるものです。

負債の部は24,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,535百万円増加しました。流動負債は13,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ924百万円の増加となりました。主な要因は、借入金の増加によるものです。固定負債は10,840百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,610百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部においては、5,747百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円の増加となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は1,680百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は765百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少額503百万円及び法人税等の支払額602百万円の支出等があったものの、税金等調整前四半期純利益666百万円及び減価償却費399百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,712百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出841百万円、子会社株式の取得による支出2,614百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は2,569百万円となりました。主な要因は、短期及び長期借入の増加3,119百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月26日に発表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,072,124	1,694,423
売掛金	2,596,719	2,671,976
債権売却未収入金	716,388	709,954
調剤報酬等購入債権	666,452	499,091
商品	1,735,480	1,993,241
仕掛品	16,506	17,957
貯蔵品	44,504	48,125
繰延税金資産	427,336	542,257
その他	629,021	579,398
貸倒引当金	△2,609	△3,383
流動資産合計	8,901,925	8,753,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,696,157	4,007,848
土地	4,682,160	4,803,003
建設仮勘定	164,947	442,635
その他(純額)	1,432,441	1,661,260
有形固定資産合計	9,975,706	10,914,748
無形固定資産		
のれん	4,968,271	7,618,392
ソフトウェア	21,667	15,480
その他	50,352	50,689
無形固定資産合計	5,040,291	7,684,561
投資その他の資産		
投資有価証券	41,087	40,385
差入保証金	1,488,815	1,558,329
繰延税金資産	865,185	946,879
その他	332,429	350,098
貸倒引当金	△42,559	△42,067
投資その他の資産合計	2,684,958	2,853,625
固定資産合計	17,700,956	21,452,935
資産合計	26,602,881	30,205,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,158,489	5,279,820
短期借入金	2,405,000	2,705,000
1年内返済予定の長期借入金	978,768	1,671,386
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払法人税等	581,638	364,792
繰延税金負債	219	102
賞与引当金	593,520	660,025
ポイント引当金	8,360	9,812
店舗閉鎖損失引当金	2,202	—
その他	2,915,272	2,877,166
流動負債合計	12,693,472	13,618,104
固定負債		
社債	125,000	100,000
長期借入金	5,921,678	8,256,400
繰延税金負債	1,028	1,113
退職給付引当金	657,721	738,990
役員退職慰労引当金	263,265	330,614
その他	1,261,200	1,413,738
固定負債合計	8,229,893	10,840,857
負債合計	20,923,366	24,458,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,091,001	1,091,001
資本剰余金	924,438	900,747
利益剰余金	3,280,502	3,440,942
自己株式	△199	△45,032
株主資本合計	5,295,743	5,387,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,128	△6,213
繰延ヘッジ損益	△46,748	△46,338
その他の包括利益累計額合計	△51,876	△52,551
少数株主持分	435,649	411,905
純資産合計	5,679,515	5,747,014
負債純資産合計	26,602,881	30,205,977

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	26,047,453
売上原価	16,891,320
売上総利益	9,156,133
販売費及び一般管理費	8,432,357
営業利益	723,776
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,667
業務受託料	29,182
設備賃貸料	19,536
雑収入	22,277
営業外収益合計	72,665
営業外費用	
支払利息	131,030
雑損失	10,420
営業外費用合計	141,450
経常利益	654,990
特別利益	
固定資産売却益	1,273
受取補償金	16,579
特別利益合計	17,852
特別損失	
固定資産除却損	5,133
店舗閉鎖損失	1,383
その他	264
特別損失合計	6,781
税金等調整前四半期純利益	666,062
法人税、住民税及び事業税	388,268
法人税等調整額	△31,757
法人税等合計	356,510
少数株主損益調整前四半期純利益	309,551
少数株主利益	51,729
四半期純利益	257,822

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	309,551
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,098
繰延ヘッジ損益	410
その他の包括利益合計	△687
四半期包括利益	308,864
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	257,147
少数株主に係る四半期包括利益	51,716

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日
至平成24年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	666,062
減価償却費	399,272
のれん償却額	229,668
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54,151
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,370
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,451
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,202
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	72,402
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	24,349
受取利息及び受取配当金	△4,392
支払利息	133,070
固定資産売却損益 (△は益)	△1,239
固定資産除却損	5,133
売上債権の増減額 (△は増加)	362,741
債権売却未収入金の増減額 (△は増加)	6,433
調剤報酬等購入債権の増減額 (△は増加)	167,361
販売用ソフトウェア資産の増減額 (△は増加)	△2,157
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△55,643
仕入債務の増減額 (△は減少)	△503,474
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,248
その他	△35,019
小計	1,495,348
利息及び配当金の受取額	4,252
利息の支払額	△131,858
法人税等の支払額	△602,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	765,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,201
定期預金の払戻による収入	41,600
有形固定資産の取得による支出	△841,708
有形固定資産の売却による収入	7,753
無形固定資産の取得による支出	△1,930
子会社株式の取得による支出	△2,614,764
事業譲受による支出	△68,699
貸付けによる支出	△268,833
貸付金の回収による収入	19,350
差入保証金の差入による支出	△81,838
差入保証金の回収による収入	57,599
その他	46,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,712,400

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成24年4月1日
至 平成24年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	345,000
長期借入れによる収入	3,600,000
長期借入金の返済による支出	△825,541
社債の償還による支出	△25,000
リース債務の返済による支出	△223,574
配当金の支払額	△96,957
少数株主への配当金の支払額	△75,460
自己株式の取得による支出	△129,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,569,266
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△377,702
現金及び現金同等物の期首残高	2,058,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,680,322

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医薬品等 ネットワ ーク事業	調剤薬局 事業	賃貸・設備 関連事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	644,139	24,914,662	356,387	132,265	26,047,453	—	26,047,453
セグメント間の内部 売上高又は振替高	672,827	2,309	186,805	—	861,941	△861,941	—
計	1,316,966	24,916,971	543,192	132,265	26,909,395	△861,941	26,047,453
セグメント利益	588,498	575,562	66,908	7,055	1,238,024	△514,248	723,776

(注) 1. セグメント利益の調整額△514,248千円には、セグメント間取引消去△42,188千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△472,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社4社の全株式を取得し、連結子会社としたこと等により、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては2,879,789千円です。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。